

プレーのペースの方針（規則 5.6b）

ゴルフのラウンドは速やかなペースでプレーすることになっています。各プレーヤーは自分のプレーのペースが他のプレーヤー（自身の組のプレーヤーと後続組のプレーヤーの両方を含む）のラウンドのプレー時間に影響を及ぼす可能性が高いことを認識する必要があります。速やかなプレーを奨励し、実行するために JGA はプレーのペースの方針を設定する下記のローカルルールを採用しています。

1. 許される時間

各ホールにはそのホールの距離や難易度に基づいてそのホールを終了するための最大時間が設定されている。その最大時間が記されたタイムパーシートはスタートする前にプレーヤーに配布される。

2. アウトオブポジションの定義

最初の組と、スターターズギャップの後の組は、ラウンド中のどの時点においても、その組の積算時間がそこまでのホールを終了するために許される時間を超えた場合、アウトオブポジションとなったものとみなされる。その他のすべての組は、そこまでのホールを終了するために許される時間を超えて、かつ次に該当した場合、アウトオブポジションとなったものとみなされる。

- パー3のホールに到着したとき、前の組がそのホールのプレーをすべて終了していて、すべてのプレーヤーが次のホールのティーイングエリアからストロークをしていた。
- パー4、またはパー5のホールに到着したとき、前の組がそのホールのプレーをすべて終了していた。

3. 組がアウトオブポジションとなった場合の措置

- (1) レフェリーがプレーのペースを観察し、アウトオブポジションとなっている組を計測するかどうかを決定する。直前に考慮すべき状況（例えば、長いルーリング、紛失球、アンプレヤブルなど）があったがどうかも評価される。
- (2) 組を計測することが決定された場合、アウトオブポジションとなったこと、そして計測することがレフェリーから知らされ、計測される。
- (3) 1 ショットに許される最大時間は 40 秒である。ただし、次のプレーヤーにはさらに 10 秒間が増加される。
 - パー3のホールで最初にプレーするプレーヤー。
 - アプローチショットを最初にプレーするプレーヤー。
 - チップショット、またはパッティングを最初にプレーするプレーヤー。

この最大時間を超えた場合、プレーヤーはバッドタイムとみなされる。

計測はプレーヤーが自分の球に到着するのに十分な時間とそのプレーヤーの順番がきて、障害や妨げとなるものがなくなってプレーできるときから開始する。

パッティンググリーンでの計測は、プレーヤーが球を拾い上げて、ふき、リプレースする、そのプレーヤーのプレーの線上の損傷を修理する、ルースインペディメントを取り除くための合理的な時間が経過したときに開始する。ホールを越えた場所から、あるいは球の後ろからラインを読んだり、球をラインに合わせたりするために費やされる時間は次のストロークのための時間の一部としてカウントされる。

(4) 組のアウトオブポジションが解消されたら計測を止め、そのことがプレイヤーに知らされる。

注：場合によっては、その組の全プレイヤーを計測する代わりに 1 人、または 2 人のプレイヤーを計測することがある。

この方針の違反の罰

- | | |
|-------------|--|
| 1 回目のバッドタイム | レフェリーによって警告され、次のバッドタイムには罰が課せられることが告げられる。 |
| 2 回目のバッドタイム | 1 罰打 |
| 3 回目のバッドタイム | 更に 2 罰打 |
| 4 回目のバッドタイム | 失格 |

4. 同じラウンド中に再度アウトオブポジションとなった場合の措置

ある組が同じラウンドで複数回アウトオブポジションとなった場合、上記の措置をその都度適用する。同じラウンドでのバッドタイムと罰の適用はそのラウンドが終了するまで持ち越される。最初のバッドタイムがプレイヤーに知らされずに 2 回目のバッドタイムとなった場合、そのプレイヤーに罰はない。

5. スロープレイヤーへの対処(ランダム計測)

場合によっては、組がアウトオブポジションとなっていない場合も含め、警告なしに組やプレイヤー個人を計測する場合がある。この「ランダム計測」をする場合、3 項の規定と罰則を適用するが、プレイヤーが 60 秒(「最初にプレーするプレイヤー」は追加の 10 秒で合計 70 秒)を超えた場合、バッドタイムとなる。

以上